



導入マニュアル

～はじめにお読みください～

目次

パッケージ内容	4
各部の名称とはたらき	5
ご使用の準備	8
1. ユーザー登録情報を変更する	8
2. 接続する	9
3. 電源をオンにする	9
4. Windows Storage Serverにサインインする	10
5. サーバーの構成を確認する	10
6. VVAULT BOX本体の電源をオフにする	10
7. Windows Updateの実行	11
インストール済みアプリケーションの使用方法	12
1. VVAULT	12
2. VVAULT AUDIT	14
3. VVAULT PGB	17
VVAULT仮想ドライブ制限事項	19
使用上の注意	20
破棄・譲渡・交換・修理時の注意	20
安全上の注意	21
VVAULT BOX本体の警告・注意	22
バックアップ用ストレージの警告・注意	26
制限事項	28
免責事項	28
APPENDIX	29
1. ディスク・ドライブ構成	29
2. アプリケーション設定 (抜粋)	30

パッケージ内容

導入マニュアル(本紙).....	1冊
VVAULT BOXサポート保証書.....	1枚
ソフトウェア使用許諾契約書.....	1枚

VVAULT BOX本体

VVAULT BOX本体.....	1台
電源ケーブル.....	1本
前面カバー開閉用鍵.....	2個
HDD固定用ビス.....	12個
リカバリーディスク.....	1枚

バックアップ用ストレージ

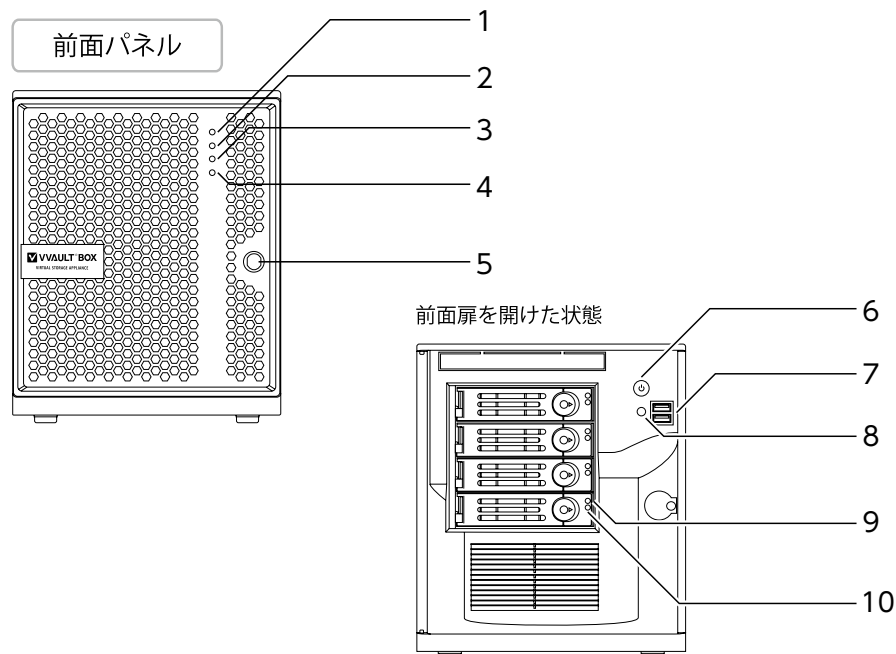
ストレージ本体.....	1台
ACアダプター(ACアダプター本体、ACケーブル)...	1セット
3極-2極変換アダプター.....	1個
USBケーブル.....	1本

※追加情報が別紙で添付されている場合は、必ず参照してください。

※前面カバー開閉用鍵は紛失しないよう大切に保管してください。

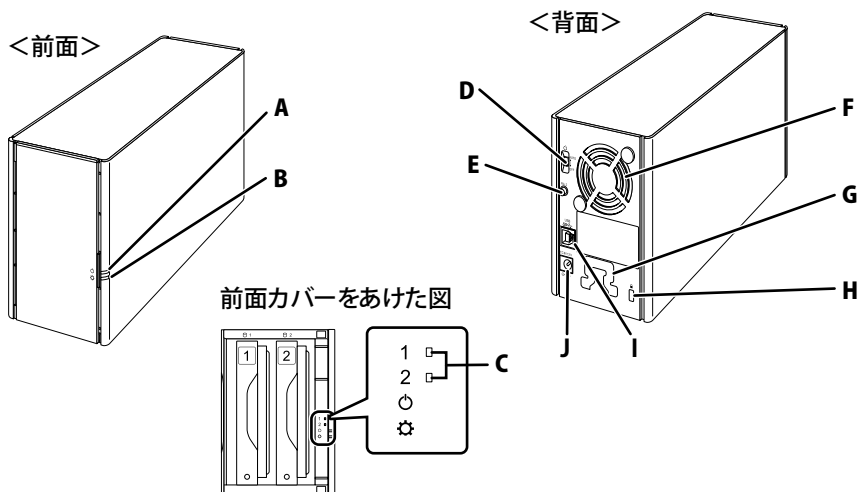
※付属の電源ケーブルおよびACケーブルは3極です。ACコンセントが2極の場合は、3極-2極変換アダプターを使用してください。

各部の名称とはたらき



VVAULT BOX 本体

1	Power LED	電源投入時に緑色に点灯します。
2	アクセス LED	アクセス時に黄色に点滅します。
3	Network LED	本製品では使用されません。
4	System Overheat LED	本製品では使用されません。
5	鍵	開閉できないように施錠します。
6	電源ボタン	電源を投入するためのボタンです。
7	USB 2.0 端子	USBマウス、キーボードを接続します。 ※PS/2接続タイプの製品は接続できません。
8	リセットボタン	操作を受け付けなくなった時などに再起動するためのボタンです。
9	マウンター アクセス LED	ストレージアクセス時に点滅します。 (マウンター内にストレージが入っている場合のみ点滅します。)
10	マウンター Power LED	電源投入時に点灯します。 (マウンター内にストレージが入っている場合のみ点灯します。)

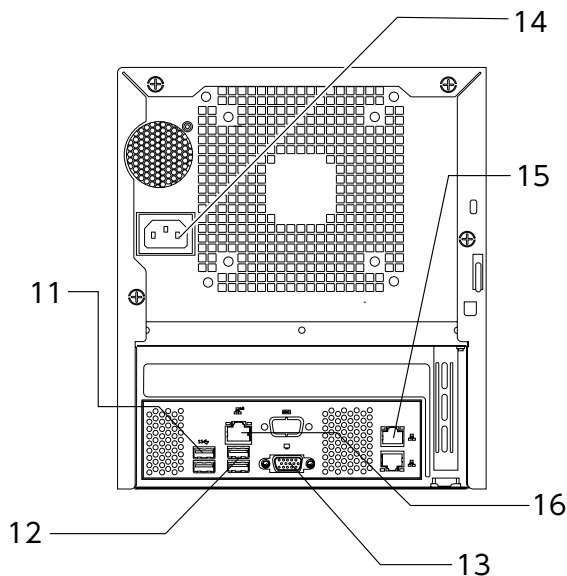


バックアップ用ストレージ

A	パワーランプ	点灯(青): 電源ON時 点滅(青): アクセス中 点灯(紫): リビルド中 点滅(紫): RAIDメンテナンス機能実行中
B	INFOランプ	バックアップ用ストレージにエラーが発生したとき点灯・点滅します。
C	ドライブランプ	バックアップ用ストレージにエラーが発生したとき点灯・点滅します。
D	電源スイッチ	AUTO: VVAULT BOX本体に連動してバックアップ用ストレージをON/OFFします。 OFF: バックアップ用ストレージをOFFにします。
E	RAIDモード変更スイッチ	使用しません。
F	ファン	内部温度が高温になると回転します。ファンを塞ぐような設置はしないでください。
G	フック	ACアダプターのケーブルは、抜けないようにフックに固定することをおすすめします。
H	セキュリティスロット	市販のノートパソコン用のセキュリティワイヤーなどを取り付けることで、本製品の盗難防止に役立ちます。
I	USB端子	付属のUSBケーブルを接続します。
J	DC端子	付属のACアダプターを接続します。

背面パネル

※各コネクタの向きに注意して、奥までしっかりと挿し込んでください。



接続が完了したら、サーバーの電源を投入します。電源投入の前に、もう一度、USBマウス、キーボードが接続されていることをご確認ください。製品起動時は、USBマウス、キーボードの接続が必須となります。

VVAULT BOX 本体

11	USB 3.0 端子	バックアップ用ストレージを接続します。 ※他のUSB機器を接続しないでください。
12	USB 3.1 端子	USBマウス、キーボードを接続します。 ※PS/2接続タイプの製品は接続できません。
13	ディスプレイ端子	ディスプレイを接続します。
14	電源端子	電源コードを接続します。
15	LAN端子	LANを接続します。 インターネットや社内LAN接続に使用します。 ※LANケーブルは付属品に含まれておりません。 ※LANケーブルの取り付け向きが上下で異なりますので、ご注意ください。
16	BMC用LANポート	このLANポートはBMC機能専用ポートです。 通常はご利用いただくことはできません。

ご使用の準備

1. ユーザー登録情報を変更する

本製品のサポートには、VVAULTカスタマーズ・スクエア(CS)への登録が必要となります。

ライセンスアクティベーションのため、既に仮のIDおよびパスワードにてアカウントを発行しておりますが、安全にご利用いただくため、以下の手順に従って必ず任意のものに変更してください。

- ① お手持ちのパソコンから以下のVVAULTカスタマーズ・スクエア(CS)のURLにアクセスします。
<https://vvault.jp/customers/>
- ② 製品に同梱されている「VVAULT BOXサポート保証書」に記載の「CS仮ID」と「パスワード」を入力し、「ログイン」をクリックします。



- ③ 次に表示されたページの右上にある「アカウント設定」をクリックします。



- ④ 次に表示されたページのアカウント設定のアカウント情報のところにある「編集」をクリック後、画面に従ってCS仮IDをお客様のメールアドレスに変更します。



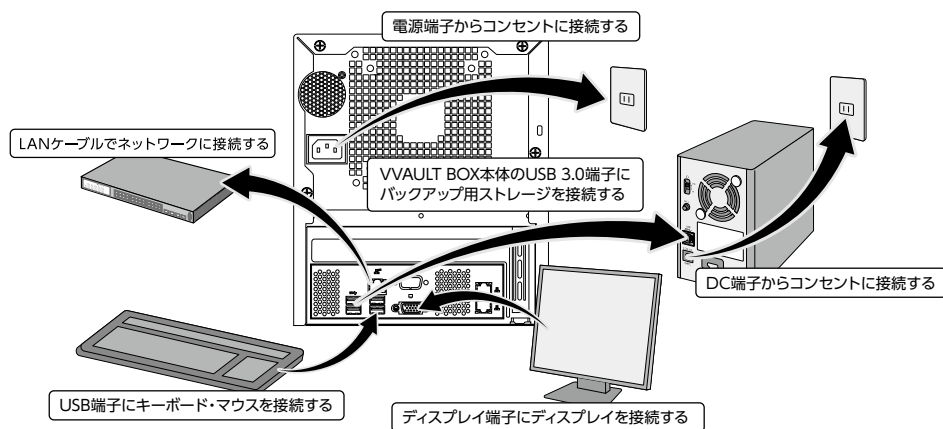
- ⑤ 次に表示されたページのアカウント設定のアカウント情報のところにある「パスワード変更」をクリック後、画面に従ってパスワードを変更します。



2. 接続する

下図を参考に、LANケーブル、電源ケーブル、ディスプレイ、キーボード、マウス、バックアップ用ストレージ、ACアダプターを接続します。

※ディスプレイ、キーボード、マウスはお客様の方でご準備ください。



3. 電源をオンにする

- ① バックアップ用ストレージの背面にある電源スイッチを「AUTO」にします。
- ② VVAULT BOX本体の前面にある電源ボタンを押し、電源をオンにします。
- ③ VVAULT BOX本体の前面にある電源ランプが青色に点灯することと、バックアップ用ストレージの前面にあるパワーランプが青色に点灯することを確認します。

※バックアップ用ストレージのパワーランプが青色点灯するまでに20秒程度かかることがあります。

4. Windows Storage Serverにサインインする

ディスプレイに表示されているログイン画面で、ユーザー名、パスワードを入力し、エンターキーを押します。
出荷時設定では、ユーザー名とパスワードは以下のように設定されています。パスワードは出荷時設定のまま使用せずに、必ず変更してください。

ユーザー名 : Administrator

パスワード : P@ssw0rd

デスクトップ画面が表示され、「サーバーマネージャー」が自動的に起動します。

※セキュリティ確保のため、Windows Updateを定期的に行ってください。

5. サーバーの構成を確認する

エクスプローラを起動し、「PC(コンピューター)」画面に以下のドライブが表示されていることを確認します。

- ・ローカルディスク(C:)
- ・ローカルディスク(D:)
- ・ローカルディスク(E:)
- ・ローカルディスク(F:)
- ・VVAULT(V:)

※共有フォルダは必ずV:ドライブ下に作成してください。

※VVAULT(V:)ドライブは遅延して起動します。エクスプローラ起動時に見えない場合、しばらく(4~5分)経ってからエクスプローラの「最新の情報に更新」を行って確認してください。

※各ドライブの構成詳細につきましては、「APPENDIX 1. ディスク・ドライブ構成 (P.29)」を参照ください。

6. VVAULT BOX本体の電源をオフにする

VVAULT BOX本体の電源は、以下の手順Aまたは手順Bのどちらかでオフにしてください。
VVAULT BOX本体の電源がオンのまま電源ケーブルを抜くと、故障の原因となる恐れがあります。

手順A

- ① 画面左下のスタートボタン  から  をクリックし、「シャットダウン」を選択します。
- ① シャットダウンする理由を選択し、「続行」をクリックします。
- ① VVAULT BOX本体前面のランプがすべて消灯したら、シャットダウンは完了です。

手順B

- ① VVAULT BOX本体前面の電源ボタンを押してシャットダウンします。
- ① VVAULT BOX本体前面のランプがすべて消灯したら、シャットダウンは完了です。

7. Windows Updateの実行

Windows Updateを行う事で、OSに対して既知の問題点(脆弱性、不具合)のパッチが適用されます。
必要に応じて適用下さい。

- ① 画面左下のスタートボタン  をクリックし、その上に表示される  をクリックします。

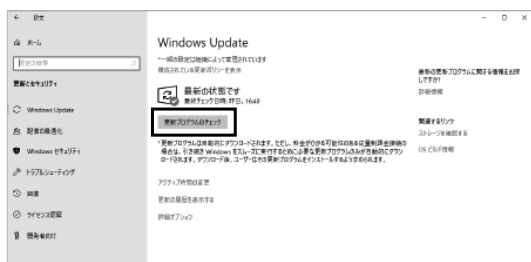
注意：Windows Updateは本製品がインターネットへ接続できる環境で行って下さい。



- ② 「更新とセキュリティ」をクリックします。



- ③ 「更新プログラムのチェック」をクリックします。



- ④ 更新プログラムのダウンロード、インストールが行われます。
完了するまでしばらくお待ちください。

インストール済みアプリケーションの使用方法

1. VVAULT

1.1 VVAULTとは

仮想ドライブ(V:)を定義するアプリケーションです。本製品ではこのドライブのみをご利用ください。

1.2 VVAULTの管理コンソールへログインする

① Windows Storage Serverのスタート画面から「VVAULT9」>「管理コンソール」を選択し、起動します。



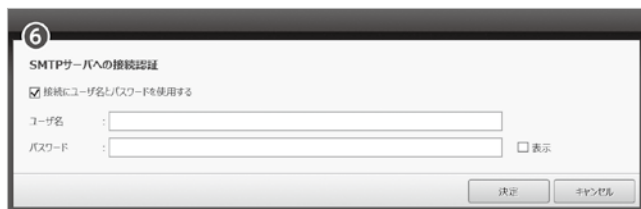
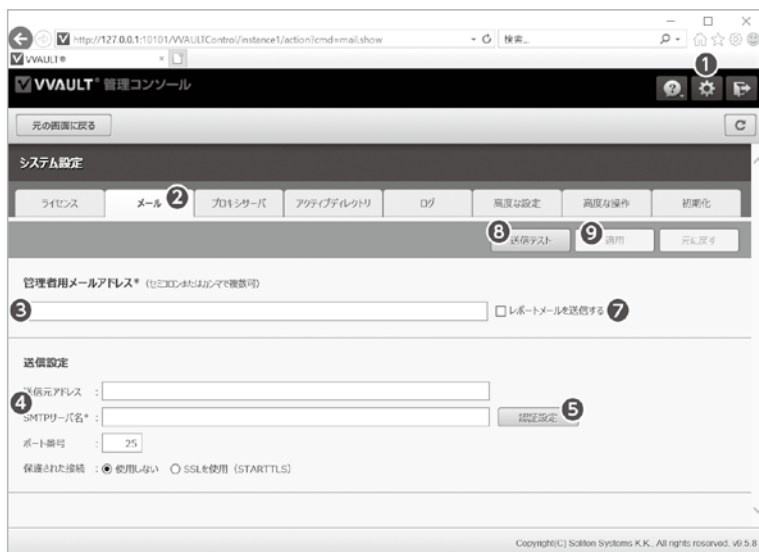
② VVAULTのログイン画面で、アカウント名、パスワードを入力し、「ログイン」ボタンをクリックします。



③ 管理コンソール画面が表示されることを確認します。



1.3 VVAULTの通知メールを設定する



- ① 管理コンソールログイン後、右上の歯車アイコンをクリックします。
- ② システム設定から「メール」タブを選択します。
- ③ 通知先となる「管理者用メールアドレス」を登録します。
- ④ 「送信元のメールアドレス」および、「SMTPサーバ情報」を設定します。
- ⑤ 送信に認証が必要な場合は、「送信設定」をクリックします。
- ⑥ 認証情報を設定します。(送信に認証が必要な場合)
- ⑦ 「レポートメールを送信する」にチェックを入れます。
- ⑧ 「送信テスト」をクリックして、メールが送信されることを確認します。
- ⑨ 「適用」をクリックして、設定情報を保存します。

2. VVAULT AUDIT

2.1 VVAULT AUDITとは

本製品の共有へのアクセスログを記録し、管理・検索することが可能なアプリケーションです。

2.2 VAビューアーを起動しログインする

- ① Windows Storage Serverのスタート画面から[VVAULT AUDIT] > [VVAULT AUDIT Viewer]を選択し、起動します。



- ② VAビューアーのログイン画面で、アカウント名、パスワードを入力し、「実行」ボタンをクリックします。



- ③ VAビューアーのダッシュボード画面が表示されることを確認します。



2.3 VVAULT AUDITの通知メールを設定する



- ① 管理コンソールログイン後、歯車アイコンをクリックします。
- ② レポートメールの「送信用メールサーバー設定」をクリックします。
- ③ 「送信元アドレス」「SMTPサーバー情報」を設定します。
- ④ 送信に認証が必要な場合は「認証設定」をクリックします。
- ⑤ 認証情報を設定します。(送信に認証が必要な場合)
- ⑥ 「決定」をクリックして、設定情報を保存します。
- ⑦ 「通知設定」をクリックします。
- ⑧ 通知先となる「管理者用メールアドレス」を登録します。
- ⑨ VVAULT AUDITの過去24時間分のステータス情報をメール通知する場合は、「システムレポートメールを送信する」をチェックします。
- ⑩ ヘルスチェックの異常検知をメール通知する場合は、「システムレポートメールを送信する」をチェックします。
- ⑪ 「送信テスト」をクリックして、メールが送信されることを確認します。
- ⑫ 「決定」をクリックして、設定情報を保存します。

3. VVAULT PGB

3.1 VVAULT PGBとは

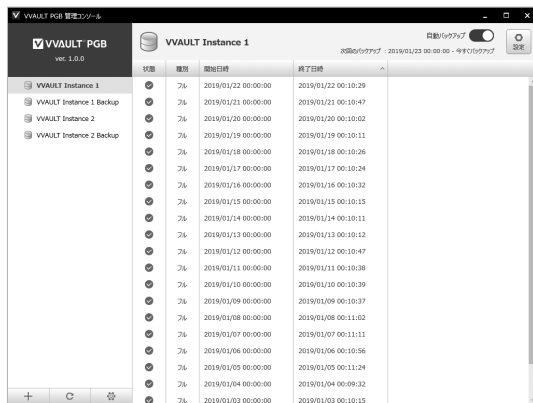
VVAULTで管理されているファイルメタ情報のデータベースをバックアップするためのアプリケーションです。
本製品のストレージ障害に備えて設定されています。

3.2 VVAULT PGB管理コンソールへログインする

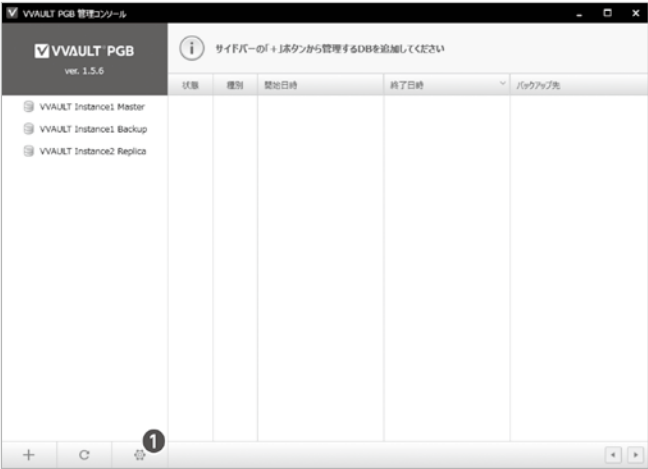
- ① Windows Storage Serverのスタート画面から「VVAULT PGB」 > 「VVAULT PGB管理コンソール」を選択し、起動します。



- ② 管理コンソール画面が表示されることを確認します。



3.3 VVAULT PGBの通知メールを設定をする



- ① 管理コンソールログイン後、右下の歯車アイコンをクリックします。
- ② 「管理者用メールアドレス」を登録します。
- ③ 送信設定の「送信元メールアドレス」を設定します。
- ④ 「送信用メールサーバー」情報を設定します。
- ⑤ 「送信テスト」をクリックし、メールが送信されることを確認します。
- ⑥ 「保存」をクリックします。

VVAULT仮想ドライブ制限事項

本製品を使ってマウントした仮想ドライブは、Windows標準機能である下記に現時点では対応しておりません。

- ・ドライブの圧縮
- ・ドライブの暗号化
- ・VSS (Volume Shadow Copy Service) *1
- ・FSRM (File Server Resource Manager)
- ・クォータ *2
- ・代替データストリーム (ADS)

*1…VVAULT独自のライブバックアップ／レプリケーション／HA機能をご利用ください。

*2…VVAULT独自のフォルダクォータ機能をご利用ください。

本製品でのウィルス対策ソフトウェアについては、OS標準のWindows Defenderのみに対応しております。他の製品をインストールされた場合はサポート対象外となりますのでご注意ください。

使用上の注意

本製品の紛失・盗難等には十分ご注意ください。

本製品の紛失・盗難・横領・詐欺等により、第三者に個人情報が漏えいする恐れがあります。個人情報が第三者に漏えいしたために損害が生じた場合、当社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

バックアップ用ストレージの前面カバー部分だけを持って持ち上げないでください。

前面カバーがはずれてしまい、落下する恐れがあります。

バックアップ用ストレージ内部からの放熱により製品が少し熱くなりますが、異常ではありません。

バックアップ用ストレージの動作時、特に起動時やアクセス時などに音がすることがありますが、異常ではありません。

ケーブル類を引っ張って本製品を動かさないでください。故障の原因となります。

VVAULT BOX本体の電源をOFFにしてからバックアップ用ストレージのランプが消灯するまでに、少し時間がかかることがあります。

仮想メモリーの保存先にバックアップストレージを設定しないでください。

本製品の動作中に停電が起こった場合（雷などによる瞬間的な停電も含む）、本製品が故障したり、本製品内のデータが消失・破損する恐れがあります。また、データの書き込み中だった場合、そのデータは本製品に書き込まれません。

本製品の修理をご依頼いただいた場合、修理内容によっては、製品を交換する場合またはディスクをフォーマットする場合などがございます。この場合、本製品内のデータはすべて消去いたします。また、当該データの消失・破損などにつき、当社は一切の責任を負いません。

破棄・譲渡・交換・修理時の注意

「削除」や「フォーマット」したハードディスク上のデータは、完全には消去されていません。

お客様が、廃棄・譲渡・交換・修理等を行う際に、ハードディスク上の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、ハードディスクに記録された全データを、お客様の責任において消去することが非常に重要となります。

ソフトウェアを削除することなくハードディスクやパソコンを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約違反になることがありますので、ご注意ください。

万一、お客様の個人データが漏洩しトラブルが発生したとしても、当社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

市販のソフトウェアを用いてデータを完全に消去（VVAULT BOX本体の場合は、製品から取り外したドライブをパソコンに接続して実行ください）するか、専門業者に完全消去作業を依頼することをおすすめします。

安全上の注意

製品を安全にご使用いただくための項目を記載しています。

VVAULT BOX本体について

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。

この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

万一、障害が発生したときは次の対策を行ってください。

- ・本製品とテレビやラジオの距離を離してみる。
- ・本製品とテレビやラジオの向きを変えてみる。

VCCI-A

バックアップ用ストレージについて

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

VCCI-B

VVAULT BOX本体の警告・注意

記載内容を守っていただけない場合どの程度影響があるかを表しています。

 警告	人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	人が障害を負う可能性が想定される内容、および、物的損害の発生が想定される内容を示します。

傷害や事故の発生を防止する禁止事項は、次のマークで表しています。

	一般禁止 その行為を禁止します。
	分解禁止 分解することで感電などの傷害を負う可能性を示します。
	接触禁止 特定場所に触れることで傷害を負う可能性を示します。
	ぬれ手禁止 ぬれた手で扱うことを禁止します。
	水ぬれ禁止 水がかかる場所や、水に濡れたままで使用することを禁止します。
	火気禁止 外部の火気を使用することを禁止します。

傷害や事故の発生を防止する禁止事項は、次のマークで表しています。

	使用者に対して指示に基づく行為を強制するものです。
	電源コードのプラグを抜くように指示するものです。
	アースリードを接地することを指示するものです。

⚠ 本体使用上の警告

	煙や異臭・異常な音・手で触れないほど熱いときは、すぐに本製品の電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。 そのまま使用すると火災・やけど・感電の恐れがあります。
	雷が鳴り出したら、本製品や本製品に接続されているケーブル類(電源コード、USBケーブルなど)に触れたりしないでください。また、機器の接続や取り外しを行わないでください。 落雷による感電の恐れがあります。
	ビニール袋などの梱包材料はお子さま、特に乳幼児の手の届かない安全な場所へ保管してください。 口に入れたり、頭からかぶったりした場合、窒息する恐れがあります。
	不安定な場所に置かないでください。 転倒や落下等により、けがをする恐れがあります。
	本製品を改造・分解しないでください。 感電・発煙・発火の原因になります。
	本製品を火中に投入・加熱あるいは端子をショートさせたりしないでください。 発熱・発火・破裂の原因になります。
	本製品の内部に次のような異物を入れないでください。 ・金属 ・水などの液体 ・燃えやすい物質 ・薬品 回路がショートして火災の原因になります。
	装置の通気口をふさがないでください。 内部に熱がこもり発煙・発火の原因となることがあります。

⚠ 電源・電源コード使用上の警告

	電源はAC100V(50/60Hz)を使用してください。 異なる電圧で使用すると感電・発煙・火災の原因になります。
	安全のため、必ずアースリード(黄/黄緑)を接地してください。アース接続は、電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アースを外す場合は、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。 順番を間違えると、感電の原因になります。
	電源コードを取り扱う際は次の点をお守りください。 ・折れ曲がった状態や束ねた状態で使用しない ・つけ根の部分を無理に曲げたりしない ・重いものを載せない ・布でくるまない ・屋外で使用しない ・水などの液体がかかる場所で使用しない 発煙・発火・火災・感電の原因になります。
	破損した電源コードは使用しないでください。 電源コードが破損した場合、テープなどで修復して使用しないでください。 修復した部分が発熱し、火災や感電の原因になります。
	電源コードは付属のものを使用し、そのプラグを壁や床に設置されている定格100Vのコンセントに直接差し込んでください。 延長コード等は使用方法によっては発煙・発火・火災・感電の原因となることがありますので十分ご注意ください。
	タコ足配線にしないでください。 電源プラグをタコ足配線にするとコンセントが発熱し、火災の原因になります。

⚠ 本体使用上の注意

	本製品を次のような場所での使用・保管しないでください。 ・風呂場などの湿気の多い場所 ・料理台や加湿器のそばなど水・湿気・湯気・塵・油煙などの多い場所 感電の原因になります。万一製品に液体がかかった場合は、電源をオフにしてサポートセンターにお問い合わせください。 乾いているようでも内部に水分が残っていることがあります。
	光学ドライブのトレイが出た状態で使用する場合は、十分に注意してください。 光学ドライブのトレイに強くぶつかったり、手や足を引っかけたりすると、けがや破損の原因になります。
	光学ドライブは絶対に分解しないでください。 故障・発熱・破損・感電の原因になります。
	光学ドライブなどのレーザー光源を直接見ないでください。 目の痛みなど障害を起こす恐れがあります。
	添付のCD-ROM・DVD-ROMディスクなどは、各ディスク対応プレイヤー以外では絶対に使用しないでください。 大音量によって耳に障害を被ったり、スピーカーやディスクを破損する原因になります。
	液晶ディスプレイ表面に傷をつけないでください。 液晶ディスプレイの表面や外枠部分を強く押さないでください。
	光センサーマウスの底面の光を直接見ないでください。 目の痛みなど障害を起こす恐れがあります。

⚠ 電源・電源コード使用上の注意

	ぬれた手で触らないでください。 電源プラグが接続されているときにぬれた手で触ると、感電の原因になります。
	クリーニングの前には必ず本製品の周辺機器の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。 電源を切らずにクリーニングを行うと、感電の原因になります。
	電源プラグにホコリがたまったままの状態では本製品を使用しないでください。火災の原因になります。
	長時間使用しないときは電源プラグを抜いてください。 絶縁劣化による漏電火災の原因になります。

⚠ 健康上の注意

	・ディスプレイを長時間継続して見ないでください。 ・キーボードやマウスを長時間継続して使用しないでください。 目の疲れ・視力低下・腕や手首が痛くなることがあります。身体の一部に痛みや不快感が生じたときは、すぐに本製品の使用をやめて休息してください。万が一、休息しても痛みや不快感が取れないときは、直ちに医師に相談してください。
	ヘッドホンやヘッドホンマイクを使う場合は、音量を上げすぎないように注意してください。 大きな音量で長時間使うと、聴覚に悪い影響を与えることがあります。
	ヘッドホンやヘッドホンマイクを装着した状態でプラグの抜き差し、本製品の電源のオン・オフ、省電力状態・復帰の操作をしないでください。 聴覚に悪い影響を与えることがあります。

本製品取り扱い上の注意

次のような場所では、使用・保管しないでください。

ホコリが多い場所 ・ 衝撃や振動が加わる場所 ・ 不安定な場所 ・ 暖房器具の近く ・ 磁気を発するもの（扇風機や大型スピーカー、温風式こたつなど）の近く ・ 長時間直射日光が当たる場所 ・ 落下の可能性がある場所 ・ テレビ・ラジオ・コードレス電話などの近く ・ 熱のこもる場所 ・ 水分や湿気の多い場所 ・ 夏の締めきった自動車内
誤動作の故障や原因となることがあります。

次の環境で使用してください。

温度10℃～35℃、湿度8%～80%（結露しないこと）

本製品を使用する際は、次のことに気をつけてください。

- ・ 平らで十分な強度がある場所で使用してください。
- ・ 結露した状態で使用しないでください。誤動作・故障の原因にもなります。
- ・ 本製品の上にものを載せないでください。また、通気口をふさがないでください。
- ・ 本製品のそばで飲食や喫煙をしないでください。
- ・ 本製品を改造しないでください。当社の保証やサービス対象外になることがあります。
- ・ 先のとがったもので傷をつけないでください。
- ・ ハードディスク・DVD・CDなどにデータ記録中は、本製品に振動や衝撃を与えないでください。
- ・ 静電気に注意してください。本製品は静電気によって故障・破損することがあります。
- ・ 電源を入れたまま本製品を動かさないでください。
- ・ 付属のACアダプタ・電源コード等は本製品以外で使用しないでください。
- ・ PC本体を膝の上・布製品の上などにおいて使用しないでください。

DVD・CDディスクなどを取り扱う際は、次のことに気をつけてください。

- ・ データ面（文字などが印刷されていない面）に触れないでください。
- ・ 先のとがったものでディスクに傷をつけないでください。
- ・ 上に重いものを載せる・曲げる・落とすなどしないでください。
- ・ 汚れたディスクは使わないでください。
- ・ ディスクが汚れたときは、やわらかい布で内側から外側に向けて拭いてください。
- ・ ベンジン・シンナーなどで拭かないでください。
- ・ ゴミやホコリの多い場所で使用しないでください。
- ・ 使わないときは収納箱（または袋）に入れて保管してください。
- ・ 直射日光の当たる場所や温度の高い場所に保管しないでください。

バックアップ用ストレージの警告・注意

■ 使用している表示と絵記号の意味

警告表示の意味

 警告	この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。

絵記号の意味

 禁止	してはいけない事項(禁止事項)を示します。
 強制	しなければならない行為を示します。

警告

 禁止	本製品の分解・改造・修理を自分でしないでください。 火災・感電・故障の恐れがあります。また本製品のシールやカバーを取り外した場合、修理をお断りすることがあります。
 禁止	AC100V(50/60Hz)以外のコンセントには、電源プラグやACアダプターを絶対に差し込まないでください。 海外などで異なる電圧で使用すると、ショートしたり、発煙、火災の恐れがあります。
 強制	電源プラグやACアダプターは、コンセントに完全に差し込んでください。 差し込みが不完全なまま使用すると、ショートや発熱の原因となり、火災や感電の恐れがあります。
 禁止	電源ケーブルやACアダプターを傷つけたり、加工、加熱、修復しないでください。 火災になったり、感電する恐れがあり、本製品の故障の原因ともなります。 ・重いものをのせたり、引っ張ったりしないでください。 ・熱器具を近付けたり、加熱しないでください。 ・電源ケーブルやACアダプターを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。 ・ケーブルは極端に折り曲げないでください。 ・電源ケーブルやACアダプターを接続したまま、機器を移動しないでください。 万一、電源ケーブルやACアダプターが傷んだら、お問い合わせ先にご相談ください。
 強制	電気製品の内部やケーブル、コネクター類に小さなお子様の手が届かないように機器を配置してください。 さわってけがをする危険があります。
 強制	濡れた手で本製品に触れないでください。 電源ケーブルやACアダプターがコンセントに接続されているときは、感電の原因となります。 また、コンセントに接続されていなくても、本製品の故障の原因となります。
 強制	煙が出たり変な臭いや音がしたら、すぐにコンセントから電源プラグとACアダプターを抜いてください。 そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。 お問い合わせ先にご相談ください。

 禁止	風呂場など、水分や湿気の多い場所や、漏電・漏水の危険があるところでは、本製品を使用しないでください。 火災になったり、感電や故障する恐れがあります。
 強制	本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。与えてしまった場合はすぐにコンセントから電源プラグとACアダプターを抜いてください。 そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。 お問い合わせ先にご相談ください。
 強制	本製品に液体をかけたり、異物を内部に入れたりしないでください。液体や異物が内部に入ってしまったら、すぐにコンセントから電源プラグとACアダプターを抜いてください。 そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。 お問い合わせ先にご相談ください。
 強制	電源ケーブルやACアダプター、信号ケーブルは必ず本製品付属のものをお使いください。 本製品以外の電源ケーブル（内部接続用含む）やACアダプター、信号ケーブルをご使用になると、電圧や端子の極性が異なることがあるため、発煙、発火の恐れがあります。

注意

 禁止	次の場所には設置しないでください。感電、火災の原因となったり、製品やパソコンに悪影響を及ぼすことがあります。 ・強い磁界、静電気が発生するところ ・温度、湿度がパソコンのマニュアルが定めた仕様環境を超える、または結露するところ ・ほこりの多いところ ・振動が発生するところ ・平らでないところ ・直射日光があたる場所 ・火気の周辺、または熱気のこもるところ ・漏電、漏水の危険があるところ
 強制	静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。 人体などからの静電気は、本製品を破損、またはデータを消失、破損させる恐れがあります。
 強制	各接続コネクタのチリやほこり等は、取り除いてください。また、各接続コネクタには手を触れないでください。
 禁止	通風口をふさいだり、他の機器と密着させないでください。 故障の原因となります。
 禁止	本製品の上や周りに物を置かないでください。 傷の原因になったり、熱がこもることによる故障の原因になったりします。 また、別の機器を近くに置いた場合は、その機器からの熱が本製品の故障の原因となります。
 禁止	シンナーやベンジン等の有機溶剤で、本製品を拭かないでください。 本製品の汚れは、乾いたきれいな布で拭いてください。汚れがひどい場合は、きれいな布に中性洗剤を含ませ、かたくしぼってから拭き取ってください。
 禁止	本製品にアクセスしている間は、次のことをしないでください。 ・USBケーブルや電源ケーブル、ACアダプターを抜くこと ・VVAULT BOX本体の電源をオフにすること 本製品内のデータが消失・破損する恐れがあります。
 強制	本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。 条例の内容については、各地方自治体にお問い合わせください。

制限事項

- 本製品はOSの情報をバックアップするように構成されています。詳細につきましては、「APPENDIX 2. アプリケーション設定(抜粋) (P.30)」を参照ください。なお、OSの復元には、別途外付けDVDドライブが必要となります。

免責事項

- 本書の著作権は当社に帰属します。本書の一部または全部を当社に無断で転載、複製、改変などを行うことは禁じられております。
- VVAULT®は、株式会社ソリトンシステムズの登録商標です。本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。本書では、™、©、®などのマークは記載していません。
- 本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があります。現に購入された製品とは一部異なることがあります。
- 本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お問い合わせ先までご連絡ください。
- 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んだの使用は意図されていません。
- これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、当社ではいかなる責任も負いかねます。
- 設備や設計、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意ください。
- 本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また、当社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。
- 本製品(付属品等を含む)を輸出または提供する場合は、外国為替および外国貿易法および米国輸出管理関連法規等の規制をご確認の上、必要な手続きをおとりください。
- 本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。
- 当社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合については、保証していません。
- 本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。
- お客様が、本書の注意事項に違反したために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、当社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、当社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限といたします。
- 本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修補し、または瑕疵のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。

APPENDIX

1. ディスク・ドライブ構成

ディスク	RAID タイプ	ドライブ	容量	用途
内蔵SSD	RAID1	C:	123GB	OS/アプリケーションインストール先
		D:	300GB	VVAULTシステム ※このドライブはシステム管理のため、ご利用いただけません
内蔵HDD	RAID1	E:	3.45TB	VVAULT/AUDITシステム ※このドライブはシステム管理のため、ご利用いただけません
外付けUSB HDD	RAID1	F:	3.63TB	VVAULT/AUDITシステム ※このドライブはシステム管理のため、ご利用いただけません
—	—	V:	2.8TB	VVAULT仮想ドライブ ※このドライブをご利用ください

2. アプリケーション設定 (抜粋)

アプリケーション	設定項目		設定値
VVAULT	インストール先		C:¥Program Files¥VVAULT
	インスタンス 1 (マスタ)	ドライブレター	V:
		DBデータ保存先	D:¥VVAULT9¥VVAULT_DB_1
		ファイルデータ保存先 1 (tier1) 600GB	E:¥VVAULT9¥VVAULT_DATA_1_1
		ファイルデータ保存先 2 (tier2) 2272GB	E:¥VVAULT9¥VVAULT_DATA_1_2
	レプリケーション	実行時間帯	指定なし (随時実行)
		タイムマシーン保存期間	31日
	インスタンス 2 (インスタンス 1 の複製)	ドライブレター	W: (マウントなし)
		DBデータ保存先	F:¥VVAULT9¥VVAULT_DB_2
		ファイルデータ保存先 (tier1) 3072GB	F:¥VVAULT9¥VVAULT_DATA_2_1
VVAULT AUDIT	インストール先		C:¥Program Files¥VVAULT AUDIT
	作業用一時フォルダ		E:¥AUDIT¥AUDIT_TEMP
	DBデータ保存期間		2週間
	DBデータ保存先		E:¥AUDIT¥AUDIT_DB
	自動アーカイブ		ON
	アーカイブ保存先		F:¥AUDIT¥ARCHIVES
	定期ジョブ		毎日 1:00
VVAULT PGB	インストール先		C:¥Program Files¥VVAULT PGB
	バックアップ 1	表示名	VVAULT Instance1 Master
		バックアップ元	D:¥VVAULT9¥VVAULT_DB_1
		バックアップ先	F:¥PGB¥VVAULT_DB_1
		実行時刻	毎日 2:00
		世代数	1
	バックアップ2	表示名	VVAULT Instance2 Replica
		バックアップ元	F:¥VVAULT9¥VVAULT_DB_2
		バックアップ先	D:¥PGB¥VVAULT_DB_2
		実行時刻	毎日 3:00
		世代数	1
Windows Server バックアップ	バックアップ対象		EFIシステムパーティション 回復 C: システム状態 ベアメタル回復
	保存先		F:
	スケジュール時刻		毎日4:00

マニュアルの入手

本製品に関するマニュアルは、下記のURLからダウンロードできます。

<https://vvault.jp/support/manual.html>

※VVAULT BOXにインストールされているVVAULTは、「VVAULT 9.x」のマニュアルを参照してください。

※VVAULT BOXにインストールされているVVAULT AUDITは、「VVAULT AUDIT」のマニュアルを参照してください。

※VVAULT BOXにインストールされているVVAULT PGBは、「VVAULT PGB」のマニュアルを参照してください。

テクニカルサポート・お問い合わせ

本製品および故障に関するお問い合わせは、下記のURLからご確認ください。

「テクニカルサポート」のご利用には、カスタマーズ・スクエアへのログインが必要です。

<https://vvault.jp/customers/index.php?tab=contact>